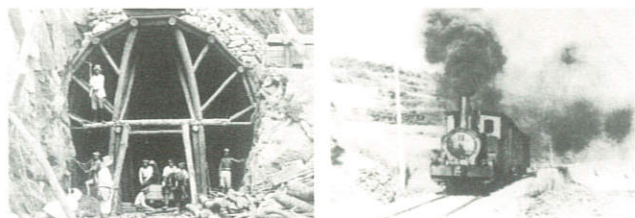


旧小濱鉄道跡



小濱鉄道 難工事と11年の営業期間

愛野-千々石間の温泉鉄道に1年遅れた1921年(大正10)、敷設が始まった小濱鉄道でしたが、岩場である崖沿いの約8キロの区間に3ヶ所のトンネルを掘る必要があることや、5ヶ所の切り通しが点在していることから大変な難工事となりました。この工事に携わったのが、地元の労働者と朝鮮半島からの労働者であり、当時の掘削道具がツルハシとノミ、そしてダイナマイトとトロッコだけであったことから、土木用人夫、工夫、石工、鍛冶などの労働者は延約20万人にのぼり、5年半の歳月と約75万円(現在の貨幣価値で約40億円)という莫大な投資と労力によって完成するに至りました。しかし、皮肉にも当時はちょうど自動車やバスが普及した時期でもありました。それに比べ汽車の運賃は割高なものであり、また肥前小濱駅から小浜温泉の中心街までの約2kmという距離は決して便利なものではありませんでした。そうして営業不振に陥った鉄道は、その後赤字が解消されず、1938年(昭和13年)にはついに廃業。難工事の末の開通からわずか11年という短い期間で、その役目を終えました。

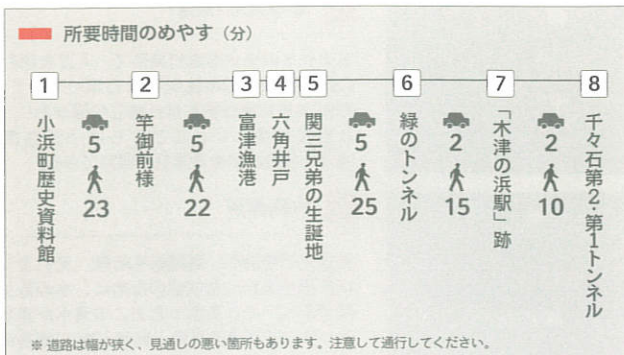


■ 汽車が走った歴史

大正9年(1920) 7月	温泉軽便鉄道株式会社創立
大正10年(1921) 8月	小濱鉄道株式会社創立
大正12年(1923) 5月	愛野-千々石間の温泉軽便鉄道開通
昭和2年(1927) 3月	千々石-肥前小濱間の小濱鉄道開通
昭和2年(1927) 6月	温泉軽便鉄道、小濱鉄道、島原鉄道3社で諫早より直通運転開始
昭和7年(1932) 11月	赤字経営により3社直通運転解消
昭和8年(1933) 7月	温泉軽便鉄道と小濱鉄道合併し、雲仙鉄道となる
昭和8年(1933) 11月	諫早より直通運転再開
昭和13年(1938) 8月	雲仙鉄道解散(当時の従業員44名)

■ 近代化産業遺産認定

経済産業省では、幕末から昭和初期にかけて我が国の産業の近代化を支えた、優れた価値を有する建造物・機械等を「近代化産業遺産」として認定しています。旧小濱鉄道跡は、2007年(平成19)に認定されました。



お問い合わせ先 | 小浜温泉観光協会 tel:0957-74-2672 email:info@obama.or.jp

旧小濱鉄道跡

1927年(昭和2年)肥前小濱-千々石間に開通した小濱鉄道は、当時温泉リゾート地として脚光を浴びていた雲仙・小浜へと観光客を誘致し、地域産業を発展させる目的で敷設されました。道路建設や自動車の普及のためにその役目を終えるまで、運行期間はわずか11年と短くはありましたが、長崎県の交通発達の歴史に名を刻み、今でも道路としてその痕跡をたどることができます。急傾斜の多い地形で鉄道敷設が難しかった小浜から千々石までの間には、3つの馬蹄形のトンネルが残され、2007年(平成19)には経済産業省の近代化産業遺産に認定されました。地元では「汽車みち」と呼ばれるこの道沿いには、様々な史跡やみどころがあり、切り立った崖から臨む橋湾の景観と、当時を偲ばせる独特の風情のある道として人々に親しまれています。



3 富津漁港(集落)

古くからの小さな漁村集落で、入江を囲む斜面に密集した町並みは見事な石垣でできている。岬には弁天様が祀られた県立公園があり、巨岩と青松が美しい。ここからは小浜温泉街や橋湾を茜色に染める落日が眺望できる。

4 六角井戸

弘法大師空海が、諸国巡礼の際、それまで近くに井戸がなかった住民のために、水のありかを杖で示し、そこを掘ったところ清水が湧き出たという伝説が残る井戸。昭和30年に簡易水道が整備されるまで飲料水として利用されていた。

5 関三兄弟の生誕地

芸術教育の研究者である長男の関衛氏、児童心理学の分野を切り開いた次男の寛之氏、民俗学者の柳田国男に師事し、「ももたろう」や「花さかじいさん」など日本昔話を編集し、昔話研究の基礎を築いた三男の敬吾氏の生誕地。



6 緑のトンネル

春から夏にかけて木々の緑が生い茂り、木漏れ日美しい自然のトンネルができる。道路幅を残し両脇に切り立った岩は、5年半もの歳月を駆け切り開いていった鉄道敷設の労苦を思わせる。

7 「木津の浜駅」跡

「肥前小濱駅」「富津駅」「上千々石駅」などと同様に、駅跡には石碑が立てられている。今でも道路脇にはプラットホーム跡が残り、線路跡である道路と共に当時の面影を遺している。

8 千々石第2・第1トンネル

木津駅跡を千々石方面に進むと、車が一台通るほどの幅の狭いトンネルが2つ続く。石を積み上げた馬蹄形のトンネルは鉄道時代の雰囲気を感じさせている。



1 小浜町歴史資料館

築160年の本多湯太夫邸跡を活用し、小浜の歴史、交通、温泉の特色などを解説し、見どころを紹介する施設。小浜温泉発展の礎を築いた本多湯太夫や、江戸から昭和にかけての歴史についての展示をしている。敷地内には足湯もある。



2 竿御前様

標識から小道を進むと祠があり、直径20cm高さ1m以上もある、木彫の男性のシンボルがそなえてある。道祖神は「さよ姫」ともよばれ、外からくる病気や悪霊等を防いだり、旅人の安全、また縁結びの神様とも言われている。

旧小濱鉄道線路跡

- 食事処
- WC トイレ
- 駐車場
- カメラ・ビューポイント

木津食事処マップへ



※このマップは2009年、小浜青年交友会によって作成されました。

